

令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第9回）

日 時：令和8年1月22日（木）午後6時～午後6時47分

出 席：大橋(会長)、内金崎、長谷川、岩元、能村、森、広瀬（敬称略）

欠 席：加藤（副会長）、小笠原、小林

傍 聴：なし

事務局：高木(西砂学習館係長)、水崎(西砂学習館職員)

1 開会挨拶（会長）

（会 長）：新年あけましておめでとうございます。地震や山火事、大雪など自然災害で幕開けした令和8年だが、西砂学習館運営協議会は穏やかに進め、令和7年度の締めくくりをしっかりとしたうえで、令和8年度を新たな気持ちでスタートしたい。資料で、西一元氣通信（No.15）の案をお配りした。1頁目の「西砂学習館運営協議会より」では新住民に向けて元氣通信の発行の狙いや思いを記した。最終頁には、西砂エリアの伝承行事の写真と「立川市文化財調査報告書Ⅱ 立川の年中行事」より説明を掲載した。お目通しになり、内容・表現を含めてご意見をいただけるとありがたい。

2 協議、報告及び連絡事項

（1）第8回運営協議会（12/10）の会議録（案）について

（事務局）：修正点等がある場合には、2週間以内（2月5日まで）に事務局に連絡をお願いする。（資料1）

（2）地域活性化講座について

ア 西砂ウィンターイベントの報告について

（事務局）：資料2を基に説明。午前「習字をしよう！」には9人、午後「凧を作ってみよう！」には11人が参加した。午前は西砂書道愛好会の皆さんを、午後は大根田和美さんを講師にお迎えした、

（会 長）：「習字をしよう！」は、スタッフが大勢いて逐一指導してくれたため、「いい字が書けた！」と好評だった。「凧作り」は過去にも行ったことがあるが、今回初めて図書館前のスペースで飛ばすことができ、子どもたちは歓声を上げて喜んでいて、アンケートは西一元氣通信に一部載せている。

イ にしすな親子塾の進捗状況について

（事務局）：資料3を基に説明。

松中小・西砂小の全児童に向けてチラシを配布した。1月15日に受付を開始し、翌日には定員に達した。定員管理（未就学児を含めた）の都合で、1回目10人、2回目8人の参加となる。

（会 長）：「親子塾」の名前のとおり、子育て世代に向けた講座としてスタートした。当初は金曜日の夜に実施していたが、場所などの都合により日曜日の開催になった。

会場は西砂児童館にお願いする。早々に定員に達してありがたい。

(委員A)：受付や材料費の集金は、学習館が行うのか。

(事務局)：学習館で行い、集めた材料費は当日講師にその場でお渡しする。

(事務局)：当日、応援してくださる委員は4名でよろしいか。事務局は砂川学習館系の応援を得て、職員2名で対応する。

(委員A)：当日は青少健があるためすべての時間に参加はできないが、短時間でも手伝ったほうが良いか。

(事務局)：お手伝いは無理されなくて大丈夫だが、お時間があれば見に来てください。

ウ 西砂シアターの実施状況について

(事務局)：資料4を基に説明。

錦で開催している16ミリフィルムロードショーを見に行った方から、当館でもやって欲しいというご意見をいただいた。当館には16ミリフィルムを回せる職員がいるため、急遽12月から「地域活性 西砂シアター」と「平和人権ロードショー」を始めている。チラシをご覧になり、お時間があればぜひ見にいらしてください。

(会長)：地域の方からの声から立ち上がった事業だということ、場所に関わらず学びの機会が均等にあるということは、非常にうれしいことだ。

(3) 地域学校コーディネーターとの情報・意見交換会について(3学期分)

*令和6年度は、3月19日(水)18:30～に実施している。

(事務局)：今後、日程調整をする。

(会長)：西砂小、松中小、立川第七中のコーディネーターが参加できる日程をまず確認してから、地運協委員の日程を調整する形でお願いしたい。

B委員、立川市で、コーディネーターの意見交換などは予定されているか。また、さまざまな学習会などで得た情報があれば共有してほしい。

(委員B)：市からの連絡はいただいている。

以前、社会教育委員の研修に参加した時に、グループ討議の中で地域学校コーディネーターの話題になった。そこでは、国分寺や東大和の実情について情報交換した。立川市の生涯学習推進審議会では、新宿区や東京都の取り組みの冊子をいただいているので勉強しないといけないと思っている。東京都でも、自治体によっては先進的に行っているところがあるが、23区と三多摩では差がある。都議会議員には、地域学校協働本部の予算を付けてくれるように要望を出した。

(会長)：予算になると、立川市だけの問題でなくなる。それらも含めて、地域と学校が協働して進んでいくエリアをつくりたいと思う。B委員が情報提供してくれるので、それを聞くことが自分たちにとって勉強になると感じている。

(4) 各委員からの報告及び連絡事項について

(委員)：西砂パソコン倶楽部では、1月20日(火)に今年初めての講座を行った。年末年始はパソコンから離れているため、リハビリのようなイメージだった。

3月には「初めてでも安心!写真編集の第一歩」講座を行う。テキストがほぼ完成しているので、詳細を詰めていきたい。また、来年度は団体企画型講座を実施した

いため、企画書を1月21日（水）にアイムに提出してきた。

(委員) : 1月11日（日）午前：地域のマラソン大会、午後：賀詞交歓会に参加した。各団体や西砂小、松中小、立川第七中の校長・副校長も来られて、新年に顔を合わせてお話をしたり不思議な手品（ネタが見える）を見せてもらったりした。地域の集まりなので、それもお愛敬で楽しかった。今年もよろしくお願いします。

(委員) : 文化会は、1月25日（日）「初笑い！うどん大会」。その準備のための役員会を開いたが、役員と言っても5人しかいないため、ぜひ役員に立候補してください。自分は、コーラスグループに所属し学習館を利用している。1月は3回も練習し、新曲に挑戦するとのことで、本日（1月22日）新しい楽譜を確認したら難しい曲ばかりだった。しかし、脳トレにもなると思っただけでがんばりたい。

(会長) : 「初笑い！うどん大会」には、学習館チームとして参加する。他の方にメンバー集めを依頼しているところだ。

(委員) : 地元の商店のお嬢さんがアメリカの方で、ご子息と参加して下さるようになった。お嬢さんは、西砂小のママさんグループで参加する様だ。

(委員) : 景品を調達する係なので、何を入れるかを検討している。

(委員) : 一番町傾聴クラブは、おかげさまで利用希望者が増えている。ここにきて、80代の方が3人入会してくれた。動機は、80代になるとすることがないが、高齢者の話し相手であればできるのではないかとのことだった。今、1回2~3人で訪問している施設からは、4~5人来てほしいと言われている。人が話しているところを見て、自分も話してほしいという人が増えていると想像している。一番町傾聴クラブでは、さらに来年度は団体企画型講座を実施しようと考えている。1月末までにアイムに書類を提出する予定だ。

(委員) : アイムに予約をしてから訪問する必要がある。

(委員) : 面談が必要だとも聞いた。

(委員) : 2月号の「まちねっと」を近日中に発行し、皆様のご自宅にお届けする予定だ。そのなかで「フードドライブ」の紹介をしている。社会福祉法人は、地域貢献活動をしなれないといけないという法律になっているが、一つの法人で行うには限界がある。そのため、「福祉ネット」という組織・ネットワークを作っている。「フードドライブ」は、フードロス対策として家庭で不要になった食品を回収し、子ども食堂など必要な団体に還元するという取組だ。2月16日~2月20日に「まちねっと」に掲載してある施設に食材を持っていけば、引き取ってもらえて、必要な団体に還元される。昨年度始まった取組で、今年度も実施予定なので近隣に施設があればぜひご寄付ください。

(委員) : 法人がネットワークを作って、各団体に渡すのか。

(委員) : 法人が受け取った食材を自分が回収して、それを子ども食堂などの団体に渡す。生鮮食品は預かれず、基本的には缶詰やレトルト食品になる。昨年度は、子ども食堂などの団体に、必要なものを持って行ってもらう形にして、残りはいちばん子ども食堂にお渡しした。いちばん子ども食堂は「フードパントリー」もしているの、そこで活用してもらった。

※いちばん子ども食堂フードパントリー：地域からいただいたおいしい食材を、子育て中のご家庭におすそ分けする事業のこと。

- (委員) : 学習館の近隣で回収してくれる施設はどこになるのか。
- (委員) : すみれ会、武蔵立川学園、西砂ホーム等がある。
- (委員) : 農家の作物（不揃い等出荷はできないが、捨てるのにはもったいない）を回収してくれる窓口はあるのか。
- (委員) : 生鮮食品は社協で保管ができず回収は難しいが、必要な団体が引き取りに行ったり、今何があるのかなどを知ることができるネットワークシステムができればいいと思う。
- (委員) : 市民推進委員会の情報広報部では、3月発行の春号の編集中だ。特集では国文学研究資料館の教授2人を採りあげる。1人は短歌の専門家で、春に市民企画講座をしていただく。もう1人はフランス人で「俳句との関わり」について取材した。短歌や俳句に触れ合う機会は少ないため、興味深い記事になると考えている。夏号では、砂川学習館を特集する。3月初旬に取材に行く予定だ。
- (委員) : 西砂図書館主催の俳句講座もすぐに定員に達したそうだ。
- (事務局) : 西砂寿教室で新年のつどいが行われた。非常にパワーをいただいたので、寿教室や地域活性化講座、平和人権事業を進めていきたい。
- (事務局) : 1月5日から、新施設予約システムの稼働が開始した。団体には、まずパスワードのリセットをしてもらっており、難しい場合はカウンターで支援している。20日から社会教育関係団体の抽選予約が始まっているが、申込状況は芳しくない。カウンターでの問合せが多いわけではないため、各団体の担当者が行ってくれているのだと思うが、少し心配な部分もある。
- 1月31日には教育フォーラムがある。そこで、中学生平和学習派遣事業の報告を行う。関心がある方は聞きに来られてください。

3 その他

(1) 学校だよりについて

(事務局) : お手元に配布しているので、お目通しください。

(2) 地域学習館運営協議会交流会について

*令和8年2月14日(土) 14:00～ 立川市役所3階 302会議室

(参加委員 : 大橋、加藤、広瀬、森<敬称略>)

(会長) : 西砂学習館の役割はあるか。

(事務局) : 今回はない。

(委員A) : 事前に知っておくべきテーマはあるのか。

(事務局) : 次回の会議で情報提供できれば、そのようにする。

(3) 次回(第10回)は、令和8年2月12日(木) 18:00～ 会議室

第11回運営協議会の日程は、次回に決める。

<配布資料>

- ・資料1 令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録(第8回)(案)

- ・資料2 2025 西砂ウィンターイベント（まとめ）（大橋会長作成）
- ・資料3 チラシ にしすな親子塾～アロマ石鹸をつくろう～
- ・資料4 チラシ 西砂学習館で映画を観ませんか（地域活性 西砂シアター）

西砂小学校、松中小学校、立川第七中学校の学校だより（資料番号なし）